

105

東京都港区新橋一丁目1-13

社団法人日本原子力産業会議

森 一久 先生



KYOTO  
FORUM

「レントゲンのX線発見100周年記念・京都フォーラム」

1995年11月4日(土) ●会場：国立京都国際会館

郵便印

平成7年10月吉日

森 一久 先生

出  
11/3 の日

拝啓

秋も深まり佳い季節となりました。お変わりなくご活躍の事と存じます。

同封のご案内状にありますように、11月4日にレントゲンのX線発見100周年記念・京都フォーラムを行います。これは一般公開でありますので、11月3日に専門家会議を下記の要項で行いたいと存じます。会議と申しましても堅苦しいものではなく、4日の演者をまじえて、放射線科学全般についてそれぞれ専門家の立場から自由に話し合い、意見を交換しようというものであります。

つきましては、同封の確認用紙にご出席の有無(3・4日両日)をご記入のうえ、ご手数ですが10月20日までに、封書にてご返送くださいますようお願い致します。

ご多忙のこととは存じますが、是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、会議参加に関する全費用(旅費・宿泊費)は主催者である京都フォーラムが一切負担いたします。

まずは書面にて、ご案内申し上げます。

敬具

場 所：国立京都国際会館 会議場B-2

日 時：平成7年11月3日(金)

12:00-13:30 昼食(於：国立京都国際会館内/スワン)

13:30-17:00 専門家会議

18:00- 会食(於：竹茂楼)

京都フォーラム

座 長 清水 栄

組織委員 阿部光幸

事務局長 矢崎勝彦

お返事

# KYOTO FORUM

知了、井上と3人2700円

1986(平1) 11/3 7-102号。 新刊の論(原稿) 折田孝、  
折田孝の論文(前編) - 折田孝、折田孝、1°-8-2 - 折田孝

1986 京都府立大学 246回月。

1985 11/8 折田孝の論文 1985 11/8 折田孝の論文

1986 京都府立大学 - 長岡半太郎 1986 11/10 折田孝

2冊原稿の複製 - 2-2 とどく、山川 孝の論文(折田孝の論文)  
X折田孝の論文の複製を速読して本誌に(折田)

折田孝 3/12 折田孝 (67人 2154) をもつた。

玉本正男 折田孝 3冊の複製を、(コピー入付)、折田孝の  
複製をのせるとする理由(?)

1°-8-2の 12/19 折田孝の論文は全部燃せ」と遺言。  
折田孝、折田孝、1°-8-2 - (折田孝の論文) 折田孝の論文。

1°-8-2 ; 将来 (折田孝の論文) の論文

MRIが流行する以前、折田孝以外の折田孝。  
折田孝の論文の複製 60年前の折田孝。

X折田孝の論文の複製を、折田孝の論文の複製に  
コピー - 折田孝の論文の複製

(一) 折田孝の論文(折田孝) 折田孝の論文の複製

(二) 折田孝の論文(折田孝) 折田孝の論文の複製

X折田孝の論文の複製 = 折田孝の論文  
折田孝の論文、折田孝の論文? 折田孝の論文

①②

1-へんき 12時間後 E=2400h  
L245-1は

細胞がR-2, 3hの118h ATENが  
DNA損傷は均一に分布 中の異常は2倍の  
染色体の17% 145% break of DNA  
遺伝的変異

md. 100% / c-ray ~ 5-10%

L245-1は。 12hの17%  $\times 10 = 20\%$  である。

遺伝的変異大さ。 原因不明

④⑤ 研究費は? 一棟下向き 半生 研究費  
遺伝的変異の 原因不明の遺伝的変異 (原因不明)

(232) "mismatch repair"

⑥⑦

12時間後の60%がDNA損傷 (DNA)

⑧⑨

①②③ 非線型 L245-1 (E=2400h)  
adaptive response

④⑤⑥⑦⑧⑨ DNA = 自然放射線によるDNA損傷  
損傷 = 10倍後である

KYOTO  
FORUM

11月 20日 午後2時

1.0 Gy 以下 1.0 Gy 以上

non-cancer with respect to 1.0 Gy